聖地のこどもニュース

記切りつの記

No. **69** 2018年 8月



▲ 「平和の架け橋 in 長野」 プロジェクトでの一コマ。 飯綱高原で子どもたちやボランティアの方々と。 右上: 新宿駅で喜びの再会。 ようやく日本にくることができたラミ。 (中央)

今年も「平和の架け橋 in 長野」プロジェクトが始まりました。善光寺玄証院の宿坊での一風変わった共同生活。三ヶ国の若者が枕を並べ、お互いを思いやって、笑い興じています。ワークショップで紛争の苦しみや悲しみの分かち合い、老人ホーム訪問、子どもたちとのふれ合い、禅の体験、市民の方々との文化交流や平和のメッセージ発信などをとおして、彼らは文化の多様性や人の温かさにふれ、喜び、感動しています。

ひとつ大きな気がかりだったガザからの参加者ラミ・アルジェルダ。検問所を通る正規 の許可が下りず、足止め状態でいたのですが、固い参加の意志で様々なことを試み、と うとう8月15日には来日することができました。みんな大喜び!

これから東京・JICAで、プログラム後半が始まります。苦労してやってきた新しい仲間を迎えてプロジェクトがどう展開していくか楽しみです。 井上 弘子



認定NPO法人 聖地のこどもを支える会



当NPOは、国際協力NGOセンター (JANIC)によるアカウンタビリティ セルフチェックを受け、基準の4分 野(組織運営・事業実施・会計・情 報公開)について適正に運営され ていると審査されました。

事務局 〒164-0003 東京都中野区東中野 5-8-7-502 **Email** ispalejpn@gmail.com Ⅲ/Ⅲ 03-6908-6571

ご支援は… 郵便振替 00180-4-88173 「NPO法人聖地のこどもを支える会」

当法人へのご寄付は、税制優遇が受けられます。

http://seichi-no-kodomo.org

出川展恒氏講演会『イスラエル・パレスチナ紛争の行方』

夏のプロジェクト支援の一環であるNHKの出川展 恒解説委員による講演会が7月1日(日)、東京都 武蔵野市のカトリック吉祥寺教会で「イスラエル・ パレスチナ紛争の行方」をテーマに開かれました。 講演の要旨を紹介します。

▼アメリカ大使館移転問題

イスラエル、パレスチナ紛争をめぐる状況は毎年 悪くなっています。

最近問題になったのは、5月14日のイスラエル建国記念日に、アメリカ大使館がテルアビブからエルサレムに移されたことです。これは、エルサレムが首都であるというイスラエルの主張を、トランプ大統領が認めたことを意味します。エルサレムはパレスチナ側も将来の首都としているので、このことに強く反発し、和平が絶望的なものになりました。

1948年のイスラエル建国でパレスチナ人は多くが難民となり、未だに国を持てないでいます。93年の暫定自治合意、通称オスロ合意はイスラエル、パレスチナが相互に承認し合い和平を目指すもので、これを基礎に交渉をし、「二国家共存」を目標に紛争の解決を図ることにしました。しかし爆弾テロなどの暴力や相互不信で交渉は中断してばかり。今の中断は4年余り続いています。

▼なぜ、いま、移転なのか

67年の第3次中東戦争でイスラエルがヨルダン川西岸、ガザなどを占領しましたが、西岸に含まれる

東エルサレムの帰属問題が、和平交渉の大きな焦点になりました。そこにある旧市街にはイスラム教、ユダヤ教、キリスト教の聖地があり、その帰属にもかかわるため交渉を難しくしているのです。

イスラエルは占領した東エルサレムを併合して「不可分のイスラエルの首都」と宣言。パレスチナ側は東エルサレムを、将来のパレスチナ国家の首都と主張し、イスラエルは国際法に反して占領を続けていると非難しています。東エルサレムの地位について、オスロ合意では和平交渉で決めることになっており、大半の国はイスラエルの主張を認めずテルアビブに大使館を置いていますし、今回のアメリカ大使館の移転式典にも参加していません。

ではトランプ大統領は、なぜあえて移転を決断したのでしょうか。背景には、国内の有権者へのアピールがあります。トランプ氏の支持者で有力なのは「エルサレムはユダヤ人に神が与えた地である」と信じるキリスト教福音派の人たちです。有権者の四分の一から三分の一を占めるともいわれています。大使館のエルサレム移転はイスラエル寄り姿勢の象徴といえ、今秋の中間選挙を視野に、自身の大統領選の公約を実行したとして、岩盤支持層をつなぎとめたいという意思の表れです。

とはいえ、エルサレムの帰属問題は宗教感情を刺激するデリケートな問題です。2000年にはイスラエルの当時の野党指導者で後に首相にもなった故シャロン氏が、イスラム教徒にとって大切な聖地で

ある旧市街の神殿の丘を大勢の警官を引き連れて訪れ、怒りを買って第2次インティファーダ(注)を引き起こした、という過去があります。

そんなことを顧みない移転が実行された日、ガザではイスラエル軍が境界のフェンスに近づいたパレスチナ人に発砲するなどして60人が死亡、1700人がけがをしました。トランプ大統領は新たな和平案を示すと言いましたが、何もありません。一方、パレスチナ自治政府のアッバス議長はトランプ政権との交渉には応じないと言明しまし



スライドを使用しての講演。100名以上の方が参加されました。

た。和平問題を追ってきたイスラエル、パレスチナ双 方の専門家たちからも「オスロ合意は死んだ」とい う声が聞かれます。

注:占領に抵抗する民衆蜂起を意味するアラビア語。 1987年末から約5年続いた第1次インティファーダが投石 を主にしたのに対し、銃器や爆弾テロで抵抗。イスラエル 側は戦車や空爆で制圧し多くの死傷者が出た。

▼行き詰まる和平交渉

交渉が行き詰まったのは、大使館移転のせいではなく、次の事情があるから既に行き詰まっていたのです。

- 1) 本来、交渉の仲介役は公平であるべきなのに、アメリカ政府がユダヤ人有権者の支持欲しさにイスラエル寄りになりがち。トランプ政権はそれが特に著しい。
- 2) ヨルダン川西岸へのユダヤ人入植。イスラエルは 国際法で禁じる占領地への入植を進め、今では入植 地は120カ所以上、東エルサレムでも10カ所以上 になり、既成事実化で除くのが困難になっている。 将来のパレスチナ国家を成す土地が侵食されるうえ に、入植地だけでなくそれを結ぶ道路によっても分 断されている。
- 3) イスラエル、パレスチナ双方に和平実現への絶望感が広がっている。

交渉は2014年春に中断したままです。イスラエル側には、教育の効果もあって西岸を占領しているという意識がなくなってきており、「神からの約束の地」という宗教観の強まりもあります。また、インティファーダが和平派を減らしたという側面もあります。

パレスチナ側では、和平路線を主張してきたアッバス議長が求心力を失っています。また、ガザはイスラム原理主義組織ハマスの支配が11年続き、自治政府主流派ファタハの支配は西岸のみで政治的に分断されたまま。2017年暮れの世論調査では、二国家共存が可能とみる人は37%、もはや不可能とみる人は60%にものぼりました。

では、二国家がダメなら一国家解決なんてあるのか。それはつまり、パレスチナ人もイスラエルという一国に含まれることですが、イスラエルの中でのパレスチナ人は二級市民にしかなれず、ユダヤ人によ

る民主国家という建国の理念に反するもので、「解 決」にはなりません。

▼新たな和平交渉の枠組み

では和平交渉を復活させるにはどうしたらいいのでしょうか。新たな枠組みのためには、次のことが必要です。

- ・二国家共存の再確認。既に述べたように、一国家 解決はあり得ません。
- ・ 西岸でのユダヤ人による入植活動の全面停止。
- ・イスラエル、パレスチナ双方に信頼醸成と和平支 持の世論形成。
- ・国際社会の支援。アメリカが国連パレスチナ難民 救済事業機関(UNRWA)への資金を凍結したため、難民の生活や教育に支障が出てきています。

次の世界を支える若者に相互理解の機会をつくることが大切なのに、イスラエルとパレスチナの若者が顔を合わせるのは検問所というのが現実です。 互いに相手を「テロリストかも」「支配者であり攻撃者」と警戒し合う状況を何とかしなければなりません。

質疑応答

――米国によるUNRWAへの拠出金凍結の後、他国の支援はどうなっていますか。

出川 事務局長は、700の学校、140の診療所の 運営は数カ月は持ちこたえられるが、追加支援がなくなると52万人の子が教育を受けられなくなり、将 来の希望も無くなると述べ、支援を望んでいます。

――イスラエルが人種差別的な国であることは、あまり知られていないようです。米国の支援があるからなのか、そういうリポートがないからなのか。

出川 現状が知らされていないからです。日本では 北朝鮮ばかり報じられ、少し前はイスラム国の動き がないと中東は報じられませんでした。トランプ政 権との付き合いのうえでも、北朝鮮が焦点になって しまいます。 (構成・村上宏一)

出川展恒(のぶひさ)氏:1985年、NHK入局。91~92年テヘラン、94~98年エルサレム、2002~06年カイロの各支局長を経て06年7月から中東・アフリカ・イスラム地域担当の解説委員を務める。

友好のつどい ~ソプラノコンサートとビュッフェのひととき~

プロジェクト支援イベントの第2弾、ソプラノ歌手の家田紀子さんとピアノの瀧田亮子さんによるコンサート、および東京・神田のパレスチナ料理店「アルミーナ」によるビュッフェが7月16日(月:海の日)、東京・四ツ谷の若葉修道院で催されました。

「私を泣かせてください」(ヘンデル作曲)、「アヴェ・ヴェルム・コルプス」(モーツァルト作曲)などの歌曲や「トロイメライ」(シューマン作曲)などのピアノ独奏を堪能。アンコールに「アイスクリーム」のおまけがついたところで、パレスチナ料理のビュッフェタイムに移りました。

用意されたのは、ひよこ豆のディップとでもいうべきホムス、それを丸めて揚げた感じのファラフェルといったパレスチナ料理の定番など、デザートにはヤギの乳のチーズケーキ、クナーフェ (クナーファ) などが並び、集まった人たちのお腹を満たしました。

チケットの番号で当たる福引では、イスラエル産ワインやパレスチナ産オリーブ油、聖地の風景をあしらった絵皿などの景品に歓声が上がりました。



▶会場では記録的な豪雨被害に遭った西日本の被害者救援のための募金もあり、可愛い少年たちが持って回る募金箱に善意のお札が次々に入れられ、寄付金は計57,011円にのぼりました。これに当NPO「聖地のこどもを支える会」からの寄付を添え、NPO法人「ANT-Hiroshima」(渡部朋子理事長)に送りました。このNPOには、2005年にプロジェクトを始める時に大きな力になっていただき、昨年のプロジェクトで広島に滞在した時も大変お世話になりました。

イベントにおいでいただいた方々のご寄付の使途 を、ここにご報告させていただきます。

ユダヤ人とは? イスラエル永遠の課題

村上 宏一(当法人理事・元朝日新聞中東アフリカ総局長)

イスラエルとパレスチナの若者を迎えて日本人も交えた合宿生活をするプロジェクトが、今年も長野の善光寺宿坊などで実施されます。前号の「オリーブの木」で、日本に来るメンバーが紹介されました。パレスチナ人では初めてガザ地区からラミという男性の応募者が出たのが注目されます。ガザはイスラエルによる封鎖が厳しく、普通なら検問を通過して日本まで来るのは無理ですが、キリスト教徒で抵抗運動による逮捕歴などもないため出て来れそうだという話でした。しかし、5月に米大使館がエルサレムに移転した際、反発したパレスチナ人のデモへの発砲などでガザでは2千人を超す死傷者が出る衝突があったばかり。イスラエル側はガザを出る許可を出さないのではないかという懸念は当たりました。結局、ガザ南端のラファからエジプトへ抜けるルート

を伝って、カイロ経由で8月15日に日本に到着、わずかながら参加することができました。

イスラエル人メンバーの方を見ると、アゼルバイジャンから家族と移住してきたナルキス (女性)の紹介欄に「両親は平和主義者で、兵役が免除されるユダヤ教超正統派の高校に通わせてくれました」とあるのに気が付いた方、いますか。これはどういうことなのでしょう。

■宗教学ぶ者は兵役免除

イスラエルでは18歳になると、男女とも兵役があります。ところが、ユダヤ教の中で超正統派 (Ultra Orthodox) と呼ばれ厳格に教義を解釈する宗派の教徒は、宗教学院で学ぶことで兵役を免除されてきました。超正統派ユダヤ教徒はイスラエル全人口の

約1割とみられます。この人々が宗教学院に通うだけで兵役に就かず、ほとんど仕事もせずにいることに対し、多くの国民、特に宗教にはあまりこだわらない「世俗派」といわれる人々は「自分たちが払う税金で食っている」と反発します。超正統派にも兵役に就かせることがしばしば政策課題となってきましたが、そのための法改正には、国会で宗教政党が一定の議席を保っていて影響力を行使するため、ほとんど実現してきませんでした。

ナルキスが生まれたアゼルバイジャンは旧ソヴィエト連邦の一共和国でした。ソ連が崩壊したのは1991年12月ですが、経済的・社会的混乱が深まった89年ごろから、大量のユダヤ人流出が始まりました。ソ連時代を含むロシアの歴史の中では、ポグロムと呼ばれるユダヤ人虐殺が度々起きており、体制末期の混乱は迫害への懸念を強めたことでしょう。そんな中、ペレストロイカと呼ばれる改革による自由化・民主化の流れで移動の制限がゆるんだのを機に、ユダヤ人の大脱出が起きたのです。一番の移住先はイスラエルでした。国力の素となる人口、それもユダヤ人口を増やしたいイスラエル政府が、積極的に移民を受け入れたからです。

旧ソ連からは89年以降の10年間で80万人近くがイスラエルに移住したといわれ、ロシア系ユダヤ人口は、2016年には100万人を超えてイスラエル人口の約12%を占めるまでになりました(その後は少し減ってきているようです)。ただし、ユダヤ人を増やそうとして進めた移民受け入れが「非ユダヤ人」を増やしていると、超正統派のような教義に厳格な宗教勢力から批判されるようになったのですから皮肉なことです。

支援金の自動払込みサービス

ご好評を頂いている自動払込みサービス。まだ の方はぜひご利用ください。

- * 毎回 郵便局へ払込みに行く手間が省けます。
- * いつからでも、いくらからでも 簡単に始められます!

お申込み・お問合せは

当法人事務局 03-6908-6571 または 042-636-9218 (中山)

■母親がユダヤ教徒なら

「だれがユダヤ人か」というのは、イスラエルでは常 に議論の対象となる問題です。

ユダヤ人の定義は、単純化していえば「ユダヤ教徒であり、母親がユダヤ人である」こと。人は母親から生まれるので、母親がユダヤ人ならその子もユダヤ人と言えます。しかし、父親が子どもを「私の子だ」と言っても絶対とは言えないので、父親がユダヤ人でも母親がそうでなければ、子どもはすんなりユダヤ人とは認められません。そのため、非ユダヤ人の女性と結婚する場合、ユダヤ教徒に改宗してもらうことが多いようです。

イスラエルのユダヤ人は皆ユダヤ教徒という建前ではあっても、もっとも厳格な律法順守派である超正統派から、自分は無信仰とさえ言う人まで幅広い。ユダヤ教徒かどうかは重要でないと言う人たちもいます。生まれつきイスラエルに住んでいる人たちには、さほど問題にならないでしょう。しかし、移民受け入れが重要な国のこと、移住してくる人がユダヤ人かどうかは大きな問題で、ユダヤ教徒か、母親がユダヤ人かが議論の対象になるのです。

旧ソ連・ロシアからの移民の場合、イスラエル政府がせっせと受け入れた中には、家族のうち祖父がユダヤ人だっただけというような、厳格な規定からはずれる例がけっこうあったようで、超正統派は大いに問題にしました。そのうえ、ユダヤ教の厳しい食事規定を守ってこなかった人が多く、豚肉を平気で食べるので普通に教義を守る人たちのひんしゅくも買いました。

■民族国家と民主主義国家

ユダヤ人の定義に当てはまるかどうかが問われる 移民も受け入れてユダヤ人を増やそうとする背景には、「ユダヤ人のホームランド」を目指したイスラエル国家の成立過程があります。求め続けた「ユダヤ人が迫害される心配をしないですむ居場所」の実現。ところが、それをつくろうとした所はパレスチナ人の住む土地だったため、ユダヤ人だけの国は望みようがなかったのです。1948年5月に始まり、翌年7月に停戦となった第1次中東戦争の結果、停戦ラインでイスラエル領と定められた中にアラブ人を抱 えることになりました。イスラエル国籍のアラブ人は現在、全人口884万人のうち約21%を占めます。 5人に1人の割合ですが、彼らはイスラエル建国を 世界にアピールした独立宣言にうたわれた「ユダヤ 人国家」では、明らかに異質の存在です。

1948年5月、英国のパレスチナ委任統治終了を受けて発せられたイスラエル独立宣言は冒頭で、イスラエルの地を「ユダヤ民族の誕生の地」と呼び、そこを追われ離散と迫害の中で希求した祖国復帰をようやく果たしたと訴えています。そして、住民の社会的・政治的平等を保証するとうたうものの、そこに定住していた他民族との関係には特に触れていません。

別稿で紹介している出川展恒NHK解説委員の 講演に、次のような内容があります。

「パレスチナ和平に『一国家解決』つまり、パレスチナ人を取り込んでイスラエル一国だけにしてしまうことで平和を実現できるのか――いや、それはない。240万人余りのパレスチナ人は二級市民にしかなれず、かつての南アフリカのようなアパルトへイト国家になってしまい、解決にはならない

このアパルトへイト国家論は以前、イスラエル国内でも議論になりました。「占領地を併合してしまったらどうなるか。大量の、しかも出生率の高いパレスチナ人口を抱えることになる。民主主義を貫き彼らに平等な市民権を与えれば、ユダヤ人国家という原則が脅かされる。それを避けようとパレスチナ人の権利を抑えればアパルトへイト国家になってしまい、建国の理念に反する」というものです。だから二国家共存でなければならないと、オスロ合意の意義を後押しするものだったといえます。

「ユダヤ人国家」へのこだわりは捨てられないでしょうが、なかなかやっかいなものなのです。



日本の支援者の皆さま、ありがとう!

おかげさまで、この1年間、延べ94名の生徒が学校へ 通うことができました。

所在地·学校名 支援できた 生徒数

711年地·子仪·1	生徒数
●エルサレム	
聖ディミアナ・コプト学院 聖ヨゼフ学院 テラ・サンクタ学院 聖ディミトリオス スクール ラ・サール学院 聖タルクマンハス学院 シュミット学院 聖ジョージ学院 理ジョージ学院 オリーブ山学院 ラウダット・エルザフール学院 スパニッシュ スクール 聖チャールズ幼稚園	20 10 10 6 4 4 3 2 2 2 2 2
●ラマッラー 福音ルーテル派教会	2
●ベツレヘム エフェタ視聴覚障害者スクール シーラ学園	10
●ベイト・ジャラ 聖アフラム学院 タリタ・クミスクール	11 2
●ベイト・サフール LP学園	1
合 計	94

教育資金が不足しています 一層の支援をお願いいたします

顔の見える支援 里親募集中!

ある特定の子どもの教育を、毎月一定の支援 金で継続的にサポートする里親制度。一歩進ん だ国際協力のかたちです。

里親と里子の間で、写真や手紙の交換をすれば(任意)、個人的なつながりが持て、子どもの成長を身近に見守ることができます。

詳しくは、当法人事務局まで。

2018年度 総会のご報告

当法人の総会が去る6月10日15時~17時に行われ、 2016年度の事業報告書及び収支決算書、 2017年度の事業計画書と予算書について承認されました。

2017年度 活動計算書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

(単位:円)

2017年4月1日から2018年	-0/101146	
【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	362,000	
賛助会員受取会費	8,357,313	8,719,313
【受取寄付金】		
受取寄付金	2,464,229	
施設等受入評価益	180,000	
ボランティア受入評価益	120,000	2,764,229
【受取助成金等】		
受取助成金	148,261	
受取補助金	700,000	848,261
【事業収益】		
参加料金収益	5,926,896	
自主事業収益	766,350	6,693,246
【その他収益】	700,000	3,000,240
受取利息	11	
	20,800	20,811
経常収益 計	20,000	19,045,860
【経常費用】		19,040,000
【事業費】		
(人件費)		
給料 手当(事業)	1,854,400	
ボランティア評価費用	120,000	
人件費計	1,974,400	
(その他経費)	1,974,400	
	200 000	
業務委託費	280,800	
諸謝金	988,060	
印刷製本費(事業)	520,445	
会議費(事業)	145,452	
旅費交通費(事業)	1,017,516	
旅費海外(事業)	5,015,024	
車 両 費(事業)	58,576	
通信運搬費(事業)	506,577	
消耗品 費(事業)	250,062	
賃借料(事業)	126,470	
施設等評価費用	180,000	
保 険 料(事業)	12,600	
	4,200	
支払手数料(事業)	13,656	
支払助成金	3,118,483	
支払寄付金	108,754	
姓 費(事業)	13,936	
その他経費計	12,360,611	
事業費 計		14,335,011

(人件費) (人件費) 役員 報酬 900,000			
役員 報酬 900,000 659,800 法定福利費 314,484 通 勤 費 200,992 人件費計 2,075,276 (その他経費) 印刷製本費 1,200 会 議 費 4,323 旅費交通費 165,833 消耗品 費 175,009 水道光熱費 56,030 地代 家賃 808,800 広告宣伝費 27,423 諸 会 費 56,350 租税 公課 1,050 支払手数料 124,784 その他経費計 1,476,396 管理費 計 3,551,672 経常費用 計 17,886,683 当期経常増減額 1,159,177 【経常外費用 計 税引前当期正味財産増減額 1,159,177 経理区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	【管理費】		
給料 手当 659,800 314,484 通 勤 費 200,992 人件費計 2,075,276 (その他経費) 印刷製本費 1,200 会 議 費 4,323 旅費交通費 165,833 消耗品 費 175,009 水道光熱費 165,833 消耗品 費 56,030 地代 家賃 808,800 広告宣伝費 27,423 諸 会 費 1,050 支払手数料 124,784 その他経費計 1,476,396 管理費 計 3,551,672 経常費用 計 17,886,683 当期経常増減額 1,159,177 [経常外費用] 経常外費用 計 0 (経常外費用] 経常外費用計 0 (経常外費用] 経常外費用計 0 (長常外費用] 経理区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	(人件費)		
法定福利費 314,484 200,992 人件費計 2,075,276 (その他経費) 印刷製本費 1,200 会 議 費 4,323 旅費交通費 165,833 消耗品 費 175,009 水道光熱費 56,030 地代 家賃 808,800 広告宣伝費 27,423 諸 会 費 1,050 支払手数料 124,784 その他経費計 1,476,396 管理費 計 3,551,672 経常費用 計 17,886,683 当期経常増減額 1,159,177 [経常外収益] 経常外収益 計 0 [経常外費用] 経常外費用 計 税引前当期正味財産増減額 1,159,177 紅理区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	役員 報酬	900,000	
通勤費 200,992 人件費計 2,075,276 (その他経費) 印刷製本費 1,200 会議費 4,323 旅費交通費 55,594 通信運搬費 165,833 消耗品費 175,009 水道光熱費 56,030 地代家賃 808,800 広告宣伝費 27,423 諸会費 1,050 支払手数料 124,784 その他経費計 1,476,396 管理費計 3,551,672 経常費用計 17,886,683 当期経常増減額 1,159,177 [経常外費用] 経常外費用計 0 【経常外費用計 0 【経常外費用計 税引前当期正味財産増減額 1,159,177 解理区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	給料 手当	659,800	
人件費計 2,075,276 (その他経費) 1,200 会議費 4,323 旅費交通費 55,594 通信運搬費 165,833 消耗品費 175,009 水道光熱費 56,030 地代家賃 808,800 広告宣伝費 27,423 諸会費 1,050 支払手数料 124,784 その他経費計 1,476,396 管理費計 3,551,672 経常費用計 17,886,683 当期経常増減額 1,159,177 経常外費用計 0 【経常外費用計 0 【経常外費用計 0 採常外費用計 0 経常外費用計 0 以引前当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	法定福利費	314,484	
(その他経費) 印刷製本費 会議費 4,323 旅費交通費 55,594 通信運搬費 165,833 消耗品費 175,009 水道光熱費 56,030 地代家賃 808,800 広告宣伝費 27,423 諸会費 1,050 支払手数料 124,784 その他経費計 1,476,396 管理費計 3,551,672 経常費用計 17,886,683 当期経常増減額 1,159,177 【経常外費用計 税引前当期正味財産増減額 1,159,177 経理区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	通勤費	200,992	
1,200 会議費	人件費計	2,075,276	
会議費 4,323	(その他経費)		
旅費交通費 55,594 通信運搬費 165,833 消耗品 費 175,009 水道光熱費 56,030 地代 家賃 808,800 広告宣伝費 27,423 諸 会 費 56,350 租税 公課 1,050 支払手数料 124,784 その他経費計 1,476,396 管理費 計 3,551,672 経常費用 計 17,886,683 当期経常増減額 1,159,177 【経常外収益】 経常外収益】 24常外収益】 1000 【経常外費用】 1000 【経常外費用】 1000 【経常外費用】 1000 【経常外費用】 1000 【経常外費用計 1,159,177 経理区分振替額 0 1,159,177 前期繰越正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	印刷製本費	1,200	
通信運搬費 165,833 175,009 水道光熱費 56,030 地代 家賃 808,800 広告宣伝費 27,423 諸 会 費 56,350 租税 公課 1,050 支払手数料 124,784 その他経費計 1,476,396 管理費 計 3,551,672 経常費用 計 17,886,683 当期経常増減額 1,159,177 [経常外収益] 経常外収益 計 0 [経常外費用] 経常外費用計 税引前当期正味財産増減額 1,159,177 経理区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	会 議 費	4,323	
消耗品 費	旅費交通費	55,594	
水道光熱費 56,030 地代 家賃 808,800 広告宣伝費 27,423 諸 会 費 56,350 租税 公課 1,050 支払手数料 124,784 その他経費計 1,476,396 管理費 計 3,551,672 経常費用 計 17,886,683 当期経常増減額 1,159,177 【経常外収益】 0 【経常外費用】 0 【経常外費用計 0 税引前当期正味財産増減額 1,159,177 経理区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	通信運搬費	165,833	
地代 家賃 808,800 広告宣伝費 27,423 諸 会 費 56,350 租税 公課 1,050 支払手数料 124,784 その他経費計 1,476,396 管理費 計 3,551,672 経常費用 計 17,886,683 当期経常増減額 1,159,177 [経常外収益] 経常外収益 計 0 [経常外費用] 経常外費用 計 税引前当期正味財産増減額 1,159,177 経理区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	消耗品 費	175,009	
広告宣伝費 27,423 諸 会 費 56,350 租税 公課 1,050 支払手数料 124,784 その他経費計 1,476,396 管理費 計 17,886,683 当期経常増減額 1,159,177 【経常外収益 計 0 【経常外費用計 0 採常外費用計 0 採常外費用計 0 採常外費用計 0 採常外費用計 0 採門外費用計 0 採門外費用計 0 採門区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	水道光熱費	56,030	
諸 会 費 56,350 和税 公課 1,050 支払手数料 1,050 支払手数料 124,784 名の他経費計 1,476,396 管理費 計 3,551,672 経常費用 計 17,886,683 当期経常増減額 1,159,177 [経常外収益] 経常外収益計 0 [経常外費用] 報常外費用 計 税引前当期正味財産増減額 1,159,177 経理区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	地代 家賃	808,800	
1,050 124,784 24,784	広告宣伝費	27,423	
支払手数料 124,784	諸 会 費	56,350	
その他経費計 1,476,396 管理費 計 3,551,672 経常費用 計 17,886,683 当期経常増減額 1,159,177 [経常外収益] 経常外収益 計 0 [経常外費用] 経常外費用 計 税引前当期正味財産増減額 1,159,177 経理区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	租税 公課	1,050	
管理費 計 3,551,672 経常費用 計 17,886,683 当期経常増減額 1,159,177 [経常外収益] 経常外収益計 0 [経常外費用]	支払手数料	124,784	
経常費用 計 17,886,683 当期経常増減額 1,159,177 [経常外収益] 経常外収益 計 0 [経常外費用] 経常外費用 計 税引前当期正味財産増減額 1,159,177 経理区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	その他経費計	1,476,396	
当期経常増減額 1,159,177 [経常外収益] 2	管理費 計		3,551,672
【経常外収益】 0 経常外費用】 0 経常外費用】 0 経常外費用 計 0 税引前当期正味財産増減額 1,159,177 経理区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	経常費用 計		17,886,683
経常外収益 計 0 [経常外費用] 経常外費用 計 0 税引前当期正味財産増減額 1,159,177 経理区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	当期経常増減額		1,159,177
【経常外費用】	【経常外収益】		
経常外費用計 0 税引前当期正味財産増減額 1,159,177 経理区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	経常外収益 計		0
税引前当期正味財産増減額 1,159,177	【経常外費用】		
経理区分振替額 0 当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	経常外費用 計		0
当期正味財産増減額 1,159,177 前期繰越正味財産額 1,382,302	税引前当期正味財産増減額		1,159,177
前期繰越正味財産額 1,382,302	経理区分振替額		l ' '
前期繰越正味財産額 1,382,302	 当期正味財産増減額		1.159.177
			,- ,

支援団体・支援者のお名前 聖地の子どもたちのためにご支援くださった皆さんです。

2017年4月1日~2018年3月31日(敬称略 匿名希望の方のお名前は省かせていただきました。)

支援団体

NPO国際協力NGOセンター

PROJECT.etc.JP

愛徳カルメル修道会 本部修道院

絶えざる御助けの聖母信心会

イエズス孝女会

医療法人 かどもと眼科

医療法人 白岩医院

栄光学園 愛の運動委員会

援助修道会 管区本部

援助修道会 六甲修道院

オタワ愛徳修道女会 管区本部

お告げのフランシスコ姉妹会 ナザレ修道院

大阪聖ヨゼフ宣教修道女会

大阪聖ヨゼフ宣教修道女会 箕面修道院

幼き聖マリア修道会

カトリック・フランシスコ聖クララ会 大修道院

カトリック葛西教会 ゆりの会

カトリック吉祥寺教会 聖地のこどもを支える会

カトリック金剛教会

カトリック五反城教会

カトリック行橋教会

カトリック鷺沼教会内 古着プロジェクト

カトリック夙川教会

カトリック松原教会

カトリック松戸教会 コスモスの会

カトリック碑文谷教会

カトリック富良野教会

カトリック片瀬教会

カトリック北浦和教会

カトリック北広島教会

木村洋行株式会社

ケベック・カリタス修道女会 本部修道院

汚れなきマリアのクラレチアン宣教修道女会

厳律シトー会 天使の聖母トラピスチヌ修道院

厳律シトー会 燈台の聖母トラピスト大修道院

厳律シトー会 那須の聖母修道院

サレジオ修道会

坂出聖マルチン病院

社会福祉法人 クリス・ロア会

宗教法人 カトリックイエズス会

宗教法人 カトリック女子跣足カルメル修道会

殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会

女子跣足カルメル修道会

女子跣足カルメル修道会 聖ヨゼフ修道院

女子跣足カルメル修道会 カルメル山の聖母修道院

女子跣足カルメル修道会 十勝修道院

聖アンナこどもの家 園児一同

聖ドミニコ女子修道会 青野木修道院

聖ドミニコ盲教修道女会 坂出聖マルチン修道院

聖ドミニコ宣教修道女会 松山修道院

聖フランシスコ病院修道女会 姫路修道院

聖ベネディクト女子修道院

聖血礼, 拝修道女会 那須修道院

聖心の布教姉妹会 本部

聖地産品展示係

聖母奉献修道会

東京カルメル会 女子修道院

ドミニコ会 聖ヨゼフ修道院

長崎純心聖母会

日本基督教団 白鷺教会

日本基督教団 まぶね教会

ヌヴェール愛徳修道会

ノートルダム学院小学校 ボランティアサークル

ベタニア修道女会 汀古田修道院

目黒サレジオ幼稚園

横浜雙葉小学校 母の会

レデンプトリスチン修道院

(67団体 順不同)

支援者

Harvey Paul A.S. 阿部 圭子	有田 美江 伊地知 広美	乾 盛夫 岩下 直子
阿部 幸子	伊東 止女子	岩崎 修
阿部 初音	伊藤 英樹	岩田 卓三
芦川 恵美子	伊藤 夏代	岩本 憲嗣
安藤 眞樹	伊藤 俊治	五十嵐 洋枝
荒川 淑	伊藤 勝子	今村 宏子
新井 栄一	伊藤 多恵子	市川 黎子
青山 美恵子	伊藤 裕幸	石井 直子
赤井 希	井口 美紀	石原 淳一
赤崎 克俊	井上 ちひろ	石川 ゆかり
浅井 明子	井上 弘子	石村 唯彦
浅沼 誠子	井上 志帆子	石田 知子
相川 栄蔵	井上 真弓	石澤 雅士
相葉 清美	井上 静子	泉 知子
天田 雄次	井上 千賀子	池永 廣美
天野 真理子	井上 清子	板橋 虎徹
天野 直秀	磯部 雅子	飯田 ルナ
東 幸江	磯部 起与子	宇野 節生
東 純子	一重 弥生	臼井 信子

Ym +>~ 7.
浦田 むつみ
上西 博
植村 惇子
馬越 由美
梅原彰
栄林 ヒサ子
遠藤 寛子
遠藤 久夫
遠藤 恵美子
遠藤 香恵子
胡美喜子
江沢 逸子
寺田 京子
越知 哲夫
奥西 美保子
奥村 聡
岡晶子
岡島 順子
岡部 浩典
桶屋 理恵子
恩地 節子
及川 幸子
君家 翔太
小山内 州一
小川 千枝子
小川 泰弘
小谷野 泰
小田 淳
小田 孕
小野 佐八士
小野 修
小野 修 小野寺 久仁子
小野寺 久仁子 太田 あき代
小野寺 久仁子 太田 あき代 太田 輝男
小野寺 久仁子 太田 あき代 太田 輝男 太田 晴子
小野寺 久仁子 太田 あき代 太田 輝男 太田 晴子 大屋 和江
小野寺 久仁子 太田 あき代 太田 輝男 太田 晴子 大屋 和江 大森 いくえ
小野寺 久仁子 太田 あき代 太田 輝男 太田 晴子 大屋 和江
小野寺 久仁子 太田 あき代 太田 輝男 太田 晴子 大屋 和江 大森 いくえ
小野寺 久仁子 太田 輝男 太田田 晴子 大森 大西 英森 大西 茂雄
小野寺 あき 男 大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大
小太太太大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大

十浬	由紀子
萩原	
	貴美子
	本 拡
加藤	喜代子
加藤	恵子
加藤	和子
垣内	紀代
	ゆか子
角田	
笠松	
葛西	咲子
釜谷	公子
	まさ子
	英明
瓦妙	
金子	
金澤	
春日	
勝原	孝子
勝嶋	
川口	
川西	
川西	
	栄子
川平	
川本	
	有紀子
蕪木	
蕪木	
片岡	
片島	正次
門口	敏子
喜山	
	由理子
切田	
北達	
北垣	
	豊子
北楯	
木村	
木村	
木村	靖子
木村	聡子
熊谷	マリ子
粂田	治夫

栗原 健
栗栖 徹
国峰 恵子
黒滝 津哉子
倉田 昌子
河野 みち子
近藤 加奈子
小塩 恒子
小坂田さち子
小出 宏子
小西 一枝
小西 羊一
小嶋 光恵
小林 美紗子
小澤 知江子
輿石 修古
後藤 幸
後藤 秀次
佐々木 郁子
佐々木 俊之
佐々木 ふみ子
佐川 洋子
佐多 保彦
佐渡 一邦
佐藤 光子
佐藤 克裕
佐藤 俊彦
佐藤 朝子
佐藤 美津子
細工藤 真理
坂口 泰子
坂本 雄郎
阪井 恭子
桜井 房子
産田 寿隆
三国谷 信子
西勝 恵子
斉藤 直子
澤美由紀
塩田 光
宿澤 恵子
島尻 亜希子
島田 ミサオ
島田 みち子
白水 明代

杉田 秀夫 菅野 滋子 鈴木 絢子 鈴木 幸子 鈴木 信一 神父 鈴木 典子 鈴木 登喜子 鈴木 國弘 関 安幸 関口 素子 関谷 中里 瀬川 眞佐子 建部 正秋 高橋 佳代子 高橋 和子 高瀬 紀子 高瀬 将章 高田 留奈子 高島 文枝 高島 友子 高平 たつみ 高野 千草 城トミ子 鷹觜 達衛 神父 谷 弘子 谷 陽美 谷山 正恵 丹呉 喜美子 竹井 雅子 竹川 典秀 竹谷 純子 竹脇 美帆子 田口 幾子 田制 則子 田川照子 田村 久恵 田村 奈巳 田代 庸恭 田中 弘子 田中 伸枝 田中 節子 田中 博 田中 美帆 田畑 孝子 武井 範子 武田 七七子

立林 久美 立脇 和夫 髙田 世津 伊達 由美子 塚田 道子 辻 美佳子 土屋 美和子 手嶋 直美 天明 恭子 出川 展恒 戸井 利子 戸澤 華江 得田 照 富田 道代 冨崎 之夫 永吉 恵子 永野 明子 永廣 ひろみ 中井 さつき 中山宏 中山 公子 中山 夕里亜 中村 ミツノ 中村 季子 中田 芳雄 中島 紀史子 中島 敏夫 中野 幸子 中柳 秀司 中澤リナ 長井 外美子 長坪 光 長野 浩二 内藤 歌子 内藤 和子 野口 紀世子 野口 裕之 野村 孝弘 野村 泰樹 野村 智美 野田 健太郎 野田 征子 野田 由利 早川昌江 花岡 錦 花田 俊信

神野 裕美



橋本 和子 原 和枝 原 桂子 波田 裕美 半田 和巳 服部 英子 葉山 文子 林一汀 濱中 智子 平賀 徹夫 司教 平田 なみ子 平木 朋世 廣川 千代子 藤本 保子 塩谷 惇子 古屋 径子 古屋 恵子 舟木 博光 深津 利子 深田 久子 深堀 柱 深澤 恵子 藤原 伸子 藤原 真理子

藤村 栄三郎 福井 圭子 福崎 康代 福崎 順栄 福瀬 くに子 福田 幸子 福田 幸子 福田 青柳 福島 貴和 福島 暁和 細谷 正子 細谷 彬 星村 美絵子 堀田 静穂 本間 早苗 本田 江身 本坊 芳子 マリアの家 マリアの御心会 丸山 ヒデ子 丸山 陽子 松岡 美也子 松山 律子 松尾 沢子

真下 広子 増満 由美子 牧瀬 翠 桝谷 紀子 眞下 まゆみ 宮川園絵 宮倉 満子 宮田 靖子 光藤 操 溝口 泰子 溝□ 由美子 三好 和枝 三須 光好 三宅 哲子 三島 八重子 水野 叔子 水野 眞由美 向井 喜代美 村井 文彦 村岡 秀子 村上 宏一 村上 則子 森 達哉 森谷 啓子

森本 明子 望月 美代乃 本橋 淑子 安田 美知子 山下 るみ子 山下 光代 山口 裕子 山田 康子 山田 真理子 山田 千秋 山内 春治 山本 貴弓 山本 恵美子 山本 幸子 山本 純人 山本 勝也 矢田部 公仁子 薬師寺 陽子 柳下 宇一 杠 愛子 杠 隆志 横沢 文子 横道 昭光 吉羽 由紀子

吉川英子 吉川八重子 吉川陽子 吉村 糸子 吉田とし子 吉田 恵子 吉田 三代江 吉田 純子 吉田 友一 吉田 良子 吉武 尚子 米嶋 洋子 ラザフォード 貴美子 ワタナベ ジョンコ 渡部 美佐子 渡辺 延子 渡辺 恵美子 渡辺 禮子 渡邊 こずえ 渡邉 公伸 匿名 18名

_ ---

(順不同)

2019「平和を願う対話の旅」のお知らせ

イスラエル、パレスチナを訪ねて、聖地と世界の平和を考えるツアー「平和を願う対話の旅」、2019年も実施します! 日本の若者とともに、皆さんが支援して下さっている子どもたちに会いにいらっしゃいませんか?

支援者・里親の皆さまのご参加をとくに歓迎いたします。

【プログラム】

エルサレム、ベツレヘム、テルアビブで、現地の子どもたち、青年たちと交流します。学校や各種施設を訪問、難民キャンプ、分離の壁や検問所の見学、死海観光など盛りだくさん、学生は各地でホームステイも体験します。

日 時:2018年3月(約2週間を予定)

参加費:約350,000円(おとな) 約290,000円(学生)

お申込み期限:2018年1月上旬



ご希望の方はなるべく早くご連絡ください。 お問合せは当法人事務局へ

TEL 03-6908-6571 090-6538-3255 E-mail ispalejpn@gmail.com

詳しくは10月、当法人のHPにアップします

Yacoub GH

エルサレム・聖墳墓教会にて演奏する

パイプオルガン : **ヤクーブ・ガザウ**ィ

1990年エルサレム生まれ。マグニフィカト音楽院で音楽理論とピアノ プオルガン奏者として活躍。エルサレムでのピアノコンクールで3つ

(日) 11:00~11:45 (9:30のミサのあと)

(木) 18:30~19:30 _(18:00開場)

聖パウロ教会

(目) 15:00~16:00 横浜 山手教会(カテドラル)

●コンサート後、アラビック・コーヒーやスウィーツ(菓子)のサービスがあります。 お問合せ 03-6908-6571, 090-6538-3255 email: ispalejpn@gmail.com

ORGAN CONCER

「平和の架け橋 in 長野」プロジェクトから



▲ テルアビブからの長いフライトのあと、日本人参加者と 大宮駅で合流。いざ長野へ。



▲ 善光寺本堂での早朝のお勤めに参加後のグループ写真。初めての仏教体験。荘重な祈りの雰囲気に圧倒されたようだ。



▲ 善光寺玄証院の宿坊でワークショップ。



▲ お皿洗いも協力すれば喜び。



▲ お年寄りの方々と楽しいひととき。



▲ 緑の公園で南中そうらん節の猛練習。



▲ 飯綱高原で、子どもたちと。音楽に合わせてすてきなダンス。

2017年のプロジェクト 参加者、ダリーヌ・ラマから 聖地のこどもたちの笑顔が 送られてきました









▲ イスラム教の女性の被りもの〈ヘジャブ〉を着た女性たち。